Ⅲ　薬剤部の現況と研究研修事項

＜現　況＞

令和5年度も、薬剤師の欠員状態が続いたが、病棟薬剤業務（薬剤管理指導料、病棟薬剤業務実施加算等の算定）を途切れることなく継続し、質の確保に取り組んだ。薬剤管理指導件数は新型コロナウイルス感染症拡大前の件数を上回り、さらに、産科病棟における薬剤管理指導料の算定を開始するなど業務の拡充に努めた。

外来化学療法においては、引き続き連携充実加算の算定を行い、地域の保険薬局との合同研修会や服薬情報提供書等による情報共有に努め、患者の外来治療期間においても、安心・安全な薬物治療に貢献した。

新たな取組みである入院前の患者総合支援においては、薬剤師による入院前からの介入により早期からの持参薬鑑別などを行い、患者サービスの向上や充実した薬物療法が提供可能となった。

そして、令和2年度から継続している医薬品の出荷停止や供給困難の状況に改善の兆しがみられない中、供給状況に合わせて柔軟に対応し、治療が滞ることのないよう、採用医薬品の変更や在庫確保に努めた。また、定期的に院内各部署の定数配置薬の確認を行い、病棟・診療科再編に合わせて、使用頻度の低い医薬品の見直しを行った。

＜今後の課題＞

令和6年度診療報酬改定においても後発医薬品の使用促進が掲げられているため、後発医薬品への積極的な切替えや、入院および外来におけるバイオ後続品の使用促進等、対応可能な項目においては早期に算定を開始する。これにより、年々増大している医薬品購入費用及び医療費の抑制への効果を期待したい。

がん薬物療法においては、薬剤師会とも協議を継続し、退院時の薬剤管理サマリを積極的に活用して保険薬局との連携を密にすることで、患者が入院から外来治療に移行しても安心・安全な薬物療法を受けることができる体制を強化する。今後、外来化学療法の件数増加が見込まれるため、抗がん剤の混注や患者指導の拡充に努めていく。

入院前の患者総合支援においては、対象患者の拡大に向けて病棟担当薬剤師もより積極的に関わることで、入院後の薬物療法に貢献する。

令和6年度より医師の働き方改革が施行される中、他職種と連携しチーム医療を推進することで、集中治療や周術期等における医師からのタスクシフトおよびタスクシェアの実現に寄与できると考える。

前年度と同様に、長期的な医薬品の供給困難に対して、治療が滞ることのないよう、引き続き医薬品の確保に努める。

＜研究研修事項＞

学術・研修活動（市立豊中病院主催・共催・その他）

◎市立豊中病院主催・共催

■令和5年度第9回　豊中市薬剤師会10月研修会　◎
　抗悪性腫瘍剤による皮膚障害対策
　　久田真規子　　Web開催　　参加者：約80名　　令和5年10月24日

■令和5年度第9回　豊中市薬剤師会10月研修会　◎
　退院時服薬指導について
　　東畑　葵　　Web開催　　参加者：約80名　　令和5年10月24日

著書

■抗菌薬の基本―ペニシリン系・セフェム系抗菌薬―
小野祐志
INFECTION CONTROL　メディカ出版　令和5年10月

■抗菌薬の基本―ペニシリン系・セフェム系抗菌薬以外―
小野祐志
INFECTION CONTROL　メディカ出版　令和5年10月

学会発表

■診療科別の抗菌薬ラウンド介入患者と抗菌薬提案受け入れ割合をもとにした抗菌薬適正使用支援チームの活動評価と今後の課題
髙久保佑一、小野祐志、徳永康行、笹垣貴美、清水潤三
第38回日本環境感染学会総会・学術集会
神奈川県　横浜市、ハイブリッド開催（パシフィコ横浜ノース）　令和5年7月20日－22日

■当院がん化学療法におけるレジメン管理　～制吐支持療法標準化への取り組み～
久田真規子、竹中智子、石田志穂、宇佐美順子、秦　真由美、川瀬朋乃
第33回日本医療薬学会年会
宮城県　仙台市、ハイブリッド開催（仙台国際センター）　令和5年11月3日－5日

■カルバペネム系薬の使用診療科と感染症別介入率からみた抗菌薬適正使用支援チームに求められる役割の検討
小野祐志、髙久保佑一、宇佐美順子
第33回日本医療薬学会年会
宮城県　仙台市、ハイブリッド開催（仙台国際センター）　令和5年11月3日－5日

■保険薬局からの返書を用いた退院時の情報提供文書の有用性の評価
上野ひとみ、相澤聡子、椎葉有樹、大江彰彦、小野祐志、宇佐美順子
第33回日本医療薬学会年会
宮城県　仙台市、ハイブリッド開催（仙台国際センター）　令和5年11月3日－5日

研究会・集談会発表

■新しい抗癌剤の吐き気対策をどのように実践するか ～新規作用機序薬剤（MEC・HECレジメン）豊中病院の場合～
久田真規子
アステラス製薬　レクチャーミーティング
豊中市、千里ライフサイエンスセンター　602号室　令和6年1月18日

講習・講演

■豊中病院における保険調剤薬局へのアプローチ ～連携充実加算を活かして～
久田真規子
病院薬剤師　スキルアップ　ウェブセミナー　がん診療における薬薬連携を考える
Web開催　令和5年9月13日

■アロカリスのレジメン導入への道 ～MECレジメンをどうするか？～
久田真規子
本音で語る　CINV Webinar　in　HOKUSETSU ～アロカリス発売1周年記念講演会～
Web開催　令和5年9月23日

■緩和ケアについて
　椎葉有樹
　　とよなか健康大学　特別講座　　豊中市、とよなか健康大学千里校　　令和5年11月24日
■がんの緩和ケアについて
　椎葉有樹
　　とよなか健康大学　特別講座　　豊中市、とよなか健康大学高川校　　令和5年12月26日
■服薬指導のコツ
　久田真規子
　　令和5年度第13回豊中市薬剤師会2月Web研修会
　　Web開催　　令和6年2月13日

司会・座長・その他

■座長：宇佐美順子
　　令和5年度第9回　豊中市薬剤師会10月研修会　　Web開催　　令和5年10月24日
■座長：椎葉有樹
　　「外来における感染症診療と経口抗菌薬の適正使用のポイント」
　　演者：大阪大学医学系研究科変革的感染制御システム開発学寄付講座　山本俊吾
　　大阪府病院薬剤師会第8回専門薬剤師育成委員会講習会　　大阪市、御堂会館　　令和5年11月18日
■座長：宇佐美順子
　　令和5年度第13回　豊中市薬剤師会2月研修会　　Web開催　　令和6年2月13日
■座長：宇佐美順子
　　「当院における整形外科診療について、上肢の疾患・外傷を中心に」
　　演者：済生会千里病院　坂口公一
　　大阪府病院薬剤師会　第9支部（豊能支部）研修会（Web研修会）　Web開催　　令和6年3月14日
■座長：宇佐美順子
　　「腎機能・動脈硬化の視点から見た腰部脊柱管狭窄症の手術成績と鎮痛剤の適正使用」
　　演者：市立吹田市民病院　坂浦博伸
　　大阪府病院薬剤師会　第9支部（豊能支部）研修会（Web研修会）　Web開催　　令和6年3月14日
■座長：椎葉有樹
　　一般口頭発表(抗菌薬・抗ウイルス薬・抗真菌薬②/ワクチン・生理活性物質)
　　日本薬学会第144年会　　神奈川県　横浜市、パシフィコ横浜　　令和6年3月29日

1．薬学生の実務実習受入れ状況

(1) 実務実習（6年制の薬学生）

大学名	受入れ期間	受入れ人数
京都薬科大学	令和5年5月22日～令和5年8月6日	1
神戸学院大学	令和5年8月21日～令和5年11月5日	1
神戸薬科大学	令和5年5月22日～令和5年8月6日	1
摂南大学	令和5年11月20日～令和6年2月11日	1
兵庫医科大学	令和5年8月21日～令和5年11月5日	1
	令和5年11月20日～令和6年2月11日	1
	合計	6

(2) 早期体験実習（6年制の薬学生）

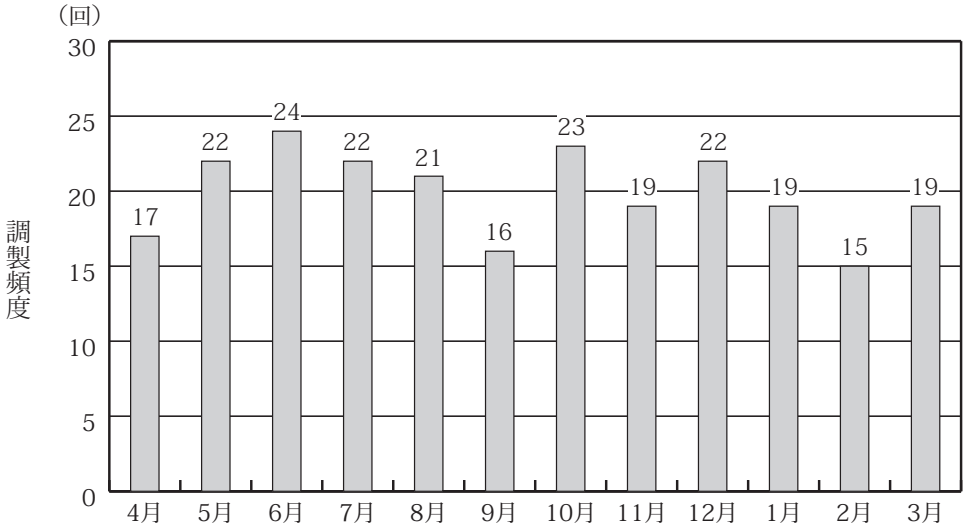
大学名	受入れ期間	受入れ人数
神戸薬科大学	令和5年5月31日	6
摂南大学	令和5年10月3日	4
	合計	10

2.　製剤業務

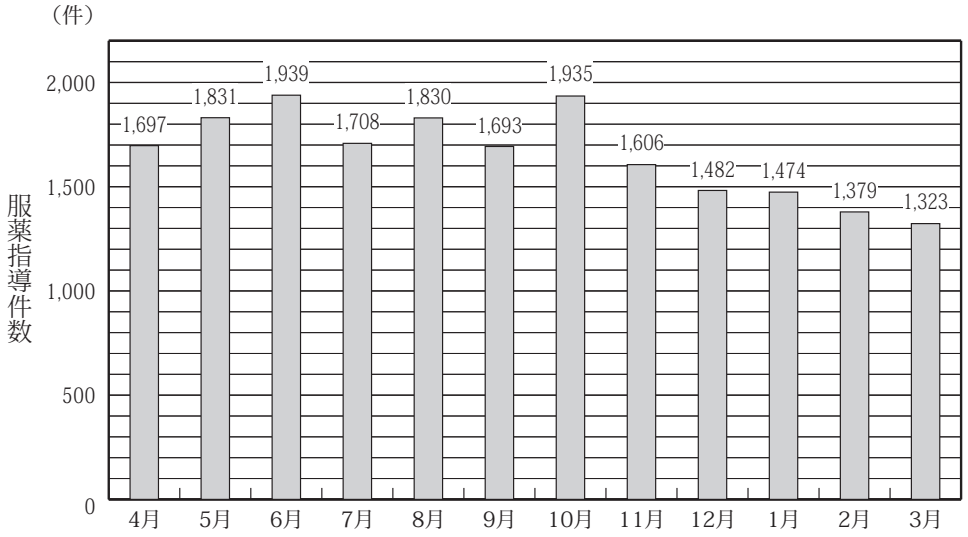
(1) 主な院内一般製剤調製量

製　剤　名	数　量	製　剤　名	数　量
4倍インジゴカルミン液(100mL/本)	430本	大腸内視鏡用セット<モビプレップ>	1,400組
柿のへた煎（1本/1日分）	150本	注腸用セット	0組
キシロカイン点眼（5mL/本）	162本	滅菌）0.05％ハイアミン入りグリセリン（500mL/本）	139本
2％酢酸（500mL/本）	26本	点鼻用0.05%プリビナ液（30mL/本）	90本
紫水1％(30mL/本)	32本	プロナーゼ＋重曹1g	4,080組
小児用吸入液(100mL/本)	174本	10％ホルマリン液（500mL/本）	0本
20％水酸化カリウム液（100mL/本）	1本	2%滅菌パテントブルー液(2mL/アンプル・本)	217本
1％水酸化ナトリウム液（100mL/本）	1本	滅菌点墨	126本
大腸内視鏡用セット<ムーベン内用液>	696組	1％滅菌メチレンブルー液(2mL/アンプル・本)	0本
大腸内視鏡用セット<ニフレック配合内用液>	990組	1％ルゴール液（100mL/本）	48本
大腸内視鏡用セット<マグコロール散>	5組	心臓CT検査用<セロケン>	240組

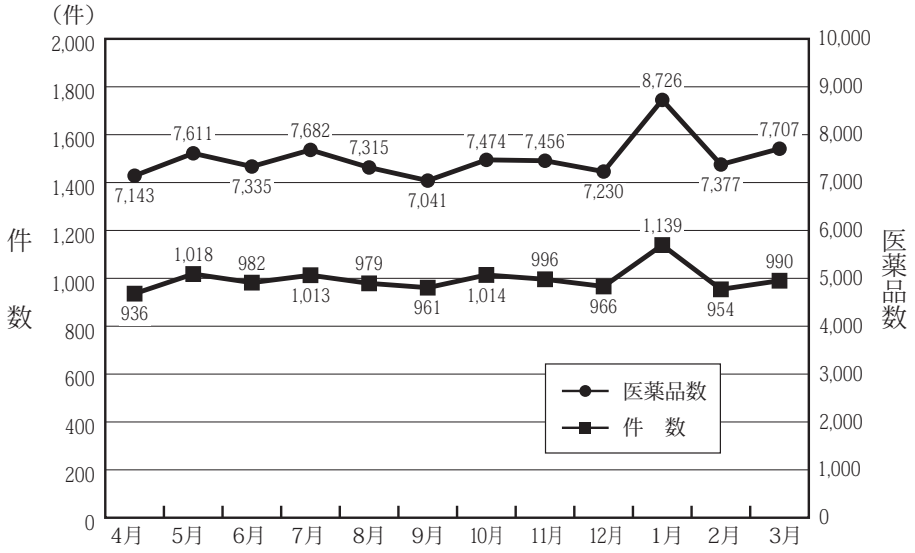
(2) 主な院内一般製剤調製頻度



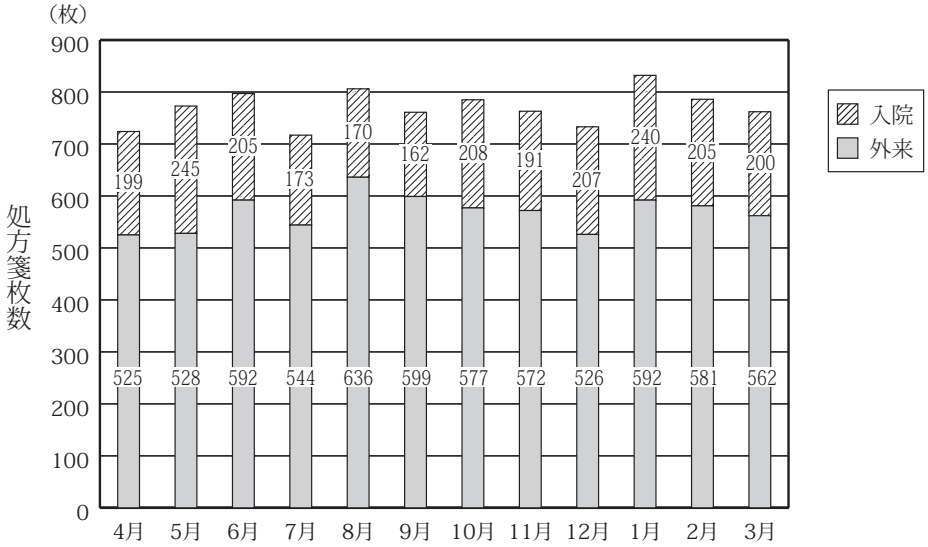
3. 入院服薬指導実施件数



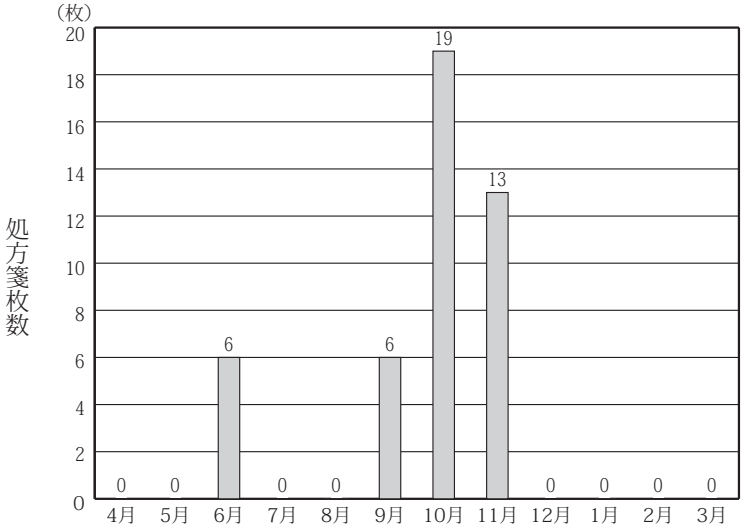
4. 入院時持参薬鑑別件数・医薬品数



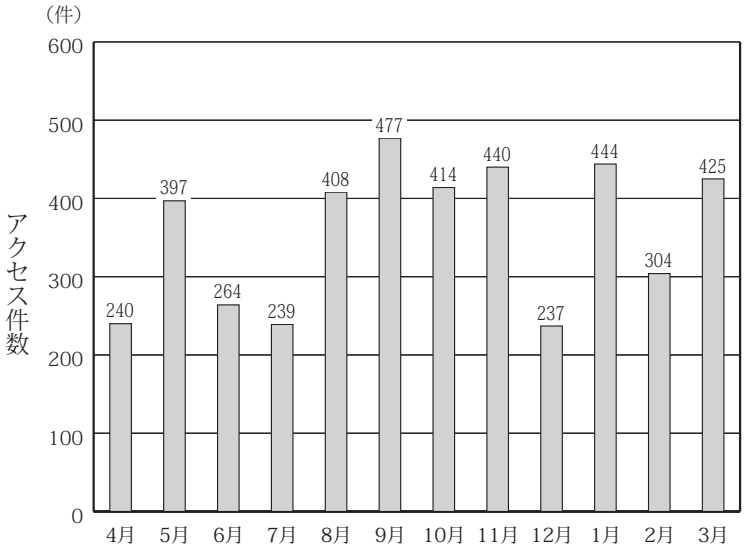
5. 化学療法用薬剤のミキシング状況



6.　TPN用薬剤のミキシング状況



7.　薬剤部院内ホームページへのアクセス数



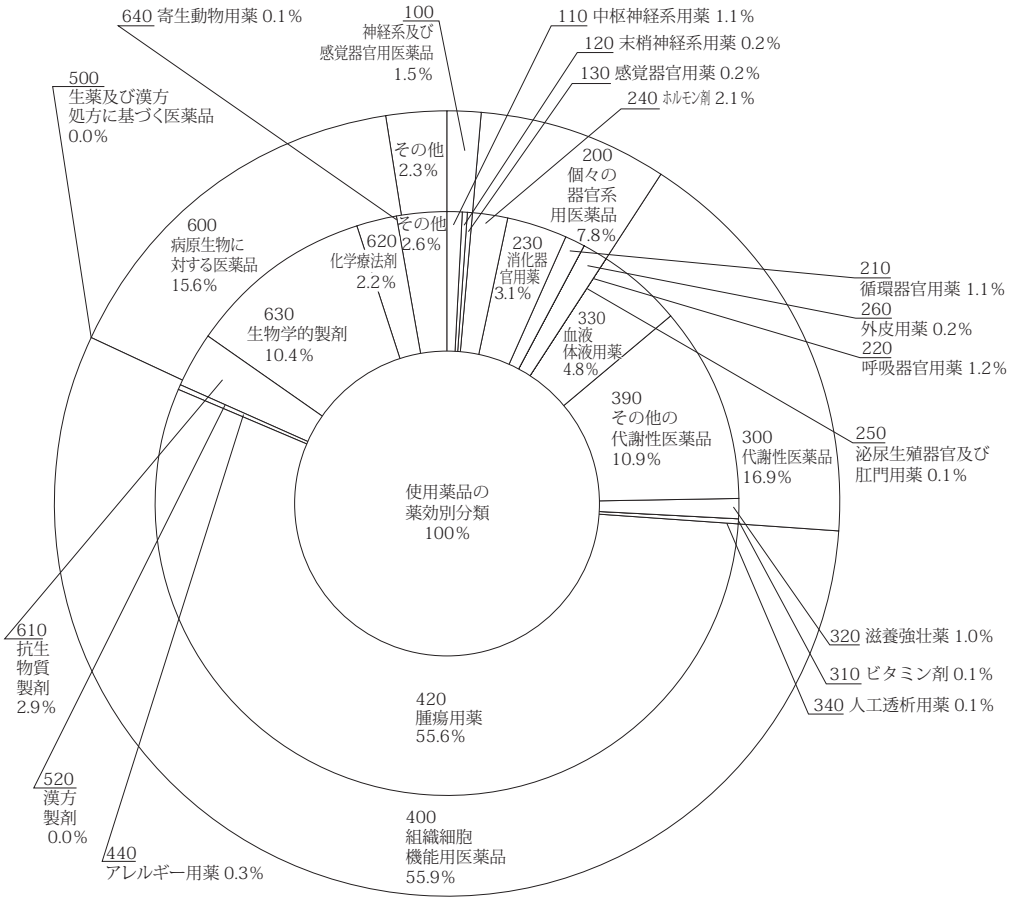
8. 医薬品管理業務

(1) 院内在庫医薬品数　（令和6年3月31日現在）

	品目数	構成比（%）
内服薬	680	44.0
外用薬	231	15.0
注射薬	625	40.5
その他	8	0.5
合　計	1,544	100.0

(2) 特定生物由来製品一覧　（令和6年3月31日現在）

アブラキサン点滴静注用(100mg/V)	テタガムＰ筋注シリンジ(250単位/1mL/筒)
アルブミナー5％静注(12.5g/250mL/V)	献血ノンスロン注射用(1500単位/V)：溶解液付
25％赤十字アルブミン静注(12.5g/50mL/V)・献血	ハプトグロビン静注(2000単位/100mL/V)・献血
献血ヴェノグロブリンＩＨ10％静注(2.5g/25mL/V)	フィブリノゲンＨＴ静注用(1g/V)・献血：溶解液付
献血ヴェノグロブリンＩＨ10％静注(5g/50mL/V)	フィブロガミンＰ静注用(240単位/V)：溶解液付
グロブリン筋注(450mg/3mL/V)・献血	献血ベニロン-Ｉ静注用(0.5g/V)：溶解液付
グロブリン筋注(1500mg/10mL/V)・献血	献血ベニロン-Ｉ静注用(5g/V)：溶解液付
献血グロベニン-Ｉ静注用(5g/V)：溶解液付	ヘブスブリン筋注用(200単位/V)：溶解液付
ケイセントラ静注用(500単位/V)：溶解液付	ヘブスブリン筋注用(1000単位/V)：溶解液付
ケイセントラ静注用(1000単位/V)：溶解液付	ボルヒール組織接着用(1mL/組)
抗Ｄ人免疫グロブリン筋注用(1000倍/V)：溶解液付	ボルヒール組織接着用(3mL/組)
コンファクトＦ静注用 (血液凝固第Ⅷ因子500単位/V)献血:溶解液付	ボルヒール組織接着用(5mL/組)
タコシール組織接着用シート(9.5×4.8cm/枚)	

(3) 使用薬品の薬効別分類

（令和5年度）